

大学の世界展開力強化事業（平成25年度採択）中間評価結果表

大 学 名	○東京農工大学、茨城大学、首都大学東京
整理番号	3
事 業 名	ASEAN 発、環境に配慮した食料供給・技術革新・地域づくりを担う次世代人材養成

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <b style="font-size: 2em;">A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント) <p style="margin-top: 20px;"> 本事業は、東京農工大学、茨城大学、首都大学東京の3大学がASEAN諸大学とコンソーシアムを形成して、ASEANにおける開発・成長、自然と人間社会の共存を図るための、環境に配慮できるグローバル人材を育成することを目的としている。 </p> <p style="margin-top: 20px;"> 各大学が主体性をもって取り組み、それぞれの特長を活かして魅力ある受入・派遣プログラムを構築しており、実施体制を整備して着実に運営が行われている。 </p> <p style="margin-top: 20px;"> 中間評価までの受入・派遣学生数や、AIMSプログラムにおける授業科目数などについては、事業全体で数値目標を上回る実績を上げており、高く評価できる。 </p> <p style="margin-top: 20px;"> 自己評価については、3大学からなるAIMSコンソーシアム運営委員会や参加学生・教員に対するアンケート調査の実施により課題の把握・改善に努めており、取組内容の充実に向けて真摯に取り組む姿勢は評価できる。 </p> <p style="margin-top: 20px;"> 今後は、3大学それぞれの特徴を活かしながら、複数大学連携による取組ならではの相乗効果を発揮できるよう、連携強化に向けた方策を検討し、統合的な運営を行うことで、より一層優れた事業となることが期待される。 </p>	